

唐松谷

日程：2010年7月3日（土）

メンバー：L 早川、志満、劔持（記）

渡渉トレの前日は日帰りで唐松谷へ。残念なことに当初メンバーが一人減り、二人減り、早川さん曰く「両手に桜」(?) 山行となった。本厚木を遅く出発し、御岳の駐車場に着いたのはAM1時。翌日に備え、呑まずに就寝。

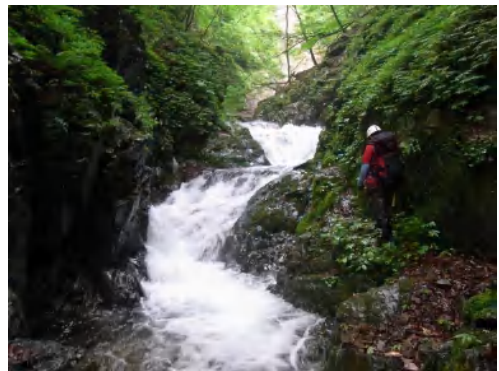
翌朝、同宿した逆川チームは早朝からやる気に満ち溢れ、いつの間にか入渓支度まで整えて終えて、「早くせい」と言わんばかり。お尻を叩かれるように眠い目をこすって出発。眠いんですけど・・・。

入渓地までの林道沿い、ずっと隣を流れる日原川が連日の雨で見るからに増水している。大丈夫だろうかとちょっと不安になる。唐松林道の登山口脇のスペースに車を停める。沢の音もゴーという感じがし、近づくにつれてその音も大音量になり、吊橋付近は白い気泡がいっぱいで水量が多いことがわかる。入渓してすぐにF1 4mは水量が多く、右から巻く。続く野陣の滝3段18m。水量が多くて近づくことすらできない。左岸を大きく高巻くことになった。ここは急で崩れやすい。どんどん高度を上げ、登山道まで出てしまった。沢床へ下りるまで、この巻きで2時間かかった。さすがに疲れたのでしばし休憩。苔が生え、緑の美しい美渓だ。しかし虫が多い。このあたりで志満さんは虫にやられてしまい、辛そうだった。

続いて大滝2段15も遠くから鑑賞するだけで右から巻く。



その後、小さな滝が続くが、へつりが多かった。相変わらず苔がきれい。最後に3段8mも水量が多くてまた登れない。左から巻き、懸垂で滝上におりた。かなりあやしげなロープが垂れ下がっていた。



見所の滝を全て終了したところで小休止。早川さんはデジを取り出し、シャッターを切っていた。

その後は特になんてことはない。右から小さな赤石窪が合流し、小さいゴルジュを通過すると沢のすぐ右手高さ3mくらいのところに登山道が見える。ここで終了。

靴に履き替え、のんびり登山道を下る。ここで早川さんは滑って手首を切ってしまったよう。私は濡れた木道（というか橋）で登山靴を滑らせ、間一髪。ひやひやしな

がらも駐車スペースに戻った。つり橋を渡ってからの最後の登りが疲れた体に効いた。

沢を始めてから数回目。毎回、ツルッドボンをやって一人だけ頭まですぐ濡れていたが、今回はそんなこともなく、ちょっと成長できたような気がした。増水のため滝は全く登れなかったのが残念だけど、きれいな様相を楽しむことが出来た。

7 : 5 5 駐車スペース出発・入溪

8 : 4 5 ~ 1 0 : 4 0 野陣ノ滝

1 2 : 2 0 3段8m

1 3 : 5 0 終了点

1 5 : 3 0 駐車スペース

地形図：雲取山・丹波